

ノルウェー王国 クリスティン・イグルム駐日大使の表敬訪問

10 月 14 日、ノルウェー王国のクリスティン・イグルム駐日大使らが当協会を訪問され、長澤会長および加藤副会長との面談を行いました。

冒頭、長澤会長は、日本とノルウェーの国交樹立 120 周年に祝賀の意を表明しました。その上で、官民レベルの幅広い連携に触れつつ、ノルウェーは日本の海運業界にとって重要なパートナーであると指摘し、海洋国家である両国の良好な関係を基盤として、海運業界を取り巻く共通の課題解決に向け、今後ともお力添えを賜りたいと述べました。

続いて加藤副会長は、今週にも IMO 海洋環境保護委員会（MEPC）において採択が予定されているネットゼロフレームワーク（NZF）に触れ、その採択に向けたノルウェー政府による多大なる尽力に改めて感謝の意を表明するとともに、外航海運の脱炭素化の実現に向けて引き続き連携していきたいと述べました。

これを受け、イグルム駐日大使からは、日本とノルウェーは海洋国家であって完全な海事クラスターを有するという共通点があり、海運業界の結びつきは 150 年以上に及ぶと指摘し、海運業界の脱炭素化をはじめ両国の共通の利益の実現に向けて対話を継続していきたいとの表明がありました。

その後の意見交換では、ノルウェー政府と当協会の協力関係を一層深化させ、官民の幅広い分野における連携強化の促進に取り組んでいくことを再確認しました。

当協会は、今後とも在日本ノルウェー大使館をはじめとした関係当局と協力し、円滑な国際物流の確保や外航海運の脱炭素化を図るべく活動してまいります。



左から、加藤副会長、イグルム駐日大使、長澤会長、ベルグ・シニアマーケットアドバイザー